

2006
冬号



目次

CO ₂ ダイエット作戦大賞決定&おばあちゃんの知恵袋集!!	2
・CO ₂ ダイエット作戦 創意工夫いろいろ	2 ~ 3
・おばあちゃんの知恵袋集	3
第129回秋田県種苗交換会へ出展	4
こどもエコクラブ交流会	4
会員活動紹介	5
トピックス・お知らせ	6 ~ 8



CO₂ダイエット作戦大賞決定

平成18年度秋田県地球温暖化防止活動推進センター普及啓発事業として「CO₂ダイエット作戦」参加と「おばあちゃんの知恵袋」を募集しました。

CO₂ダイエット作戦は8月と9月分の「電気使用量のお知らせ」を添え、CO₂削減の工夫を記入して応募してもらいました。

約200世帯からの応募があり、2回の選考委員会での協議を経て大賞1世帯と優秀賞4世帯が選ばれました。

大賞 上田智子さん(秋田市)
優秀賞 鈴木 宏さん(大仙市) 佐々木和幸さん(にかほ市)
荻原雪子さん(秋田市) 佐藤整幸さん(大仙市)



頑張った上田さん家族をたたえて



山本理事長から副賞贈呈

大賞受賞の秋田市の上田智子さんは、なんと電気使用量のみならず水道使用量も前年の半分以下に削減するという快挙を達成しました。家族みんなで話し合って協力した様子がうかがえる応募内容でした。

選考は、電気使用量の削減率、一人当たりの使用量、創意工夫、家族数などを基準に10名の選考委員によって協議し決定しました。

また、「おばあちゃんの知恵袋」募集には、さまざまな知恵が寄せられ秋田魁新報に掲載分を選考するのは至難の業でしたが、委員推薦も考慮し13人分の「知恵」を採用しました。



菊地選考委員長から表彰状授与

「CO₂ダイエット作戦大賞選考委員」

- 委員長 菊地 英治(秋田県立大学システム科学技術学部准教授)由利本荘市
委員 朝倉 孝子(環境カウンセラー・あきたエコマイスター・秋田県地球温暖化防止活動推進員)秋田市
" 工藤 兼勝(環境カウンセラー・あきたエコマイスター・ISO審査員補・秋田県地球温暖化防止活動推進員)にかほ市
" 佐藤 典(秋田魁新報社総務部長)秋田市
" 関口ヨシ子(あきたエコマイスター・秋田県地球温暖化防止活動推進員)北秋田市
" 橋 鑛司(環境あきた県民フォーラム 副理事長)秋田市
" 橋 浩人(環境あきた県民フォーラム 理事)大潟村
" 二関 彰夫(あきたエコマイスター・ISO審査員補)秋田市
" 山本 久博(環境あきた県民フォーラム 理事長)秋田市
" 吉岡 伸子(あきたエコマイスター)にかほ市

CO₂ダイエット作戦大賞・優秀賞とおばあちゃんの知恵袋集は、12月の地球温暖化防止月間中の秋田魁新報に掲載されることになっています。

以下、CO₂ダイエット作戦の創意工夫とおばあちゃんの知恵袋集の一部抜粋を掲載しますが、ホームページには大部分を掲載しますので、どうぞ参考になさってください。

CO₂ダイエット作戦 創意工夫いろいろ(抜粋)

家族4人で早寝早起きをし、夜間の電気を節約。飲み物は魔法瓶ポットを使用、夏は冷たい飲み物、冬は温かい飲み物を入れ、冷蔵庫や電気ポットを使わない工夫。エアコンに頼らないで、窓に3カ所手作り網戸を作った。生ゴミは実家の畑で肥料。買い物にはマイバック持参。我が家ではH16年(2年前)から節電に力を入れています!ですから、今年はわずかですが(それでも)使用量を減らすことができました。これは毎日の家族の心がけだと思います。これからも続けたい!!!

居間で仕事をするとき必ず点灯していましたが、ダイエット作戦に参加することになってふと気づき起きてから夕方まで部屋には灯りをつけないことにしました。今までは部屋に入るとスイッチにすぐに指がいききました。くせになっていました。仕事(パッチワーク、編み物、スタンドグラス等)しても何も困ることはあ

りませんでした。何となく明るくしていたことに気がつき大いに反省しました。

今年エアコンをつけたのは3日のみ!(窓をあける。風が通るように向かい合った窓をあけるのがポイント)夕涼み。星、月の観察で涼をとる。(一石二鳥!)子供の勉強は朝の涼いうちに!図書館も利用(集中力もアップ)電気ポットは使わない。テレビは主電源消す。(ガラガラテレビ解消で一石二鳥!)使っていない電化製品はコンセントを抜く(待機電力カット)家族はなるべく同じ部屋で過ごす。(各部屋の電気省エネ!)早く寝る!!これ大事!家計簿をつける。(光熱費、料金だけでなく使用量も記入)エコドライブ。アイドリングストップ!植木の水やりはホースでなくてじょうろで。(心をこめて?)節約でも食べ物も安心安全追求。

& おばあちゃんの知恵袋集!!

野菜は家庭菜園。食育につながる。ティッシュペーパーはムダづかいせず古着を切って雑巾に使う。

使用していない部屋の消灯。エアコンの使用を控える。ガソリンが高騰していることもあり、なるべく自転車通勤で行くようにしている。紙を分別してゴミを減らしている。

待機電力をカットする。(コンセントからプラグを抜く)子供の部屋以外エアコン不使用。すだれ、よしず、カーテンで日除けをしました。風を通すと効果的。しかし暑過ぎる日は窓を閉め、カーテン。日中、午前中は1階、午後は2階と涼しいほうで生活。買い物で気をつける。(地産地消・必要な物を必要なだけ)節水(風呂の残り湯を洗濯に。米のとぎ汁など鉢物に)ゴミの減量と分別をしっかりしています。

長男が“節電の掟”を作り、厳しく使用を制限。早寝早起きして、電気をつけなくてもいいようにした。使用していないコンセントを抜く。洗濯機はまとめ洗いで回数を減らす。扇風機はタイマー運転等々。エコクラブの活動として、クリーンアップ。自然観察。マイバック持参。好き嫌いをしない。給食を残さず食べる。残り湯をバケツで汲み、洗濯機へ……等々。

各部屋のコンセントをエコタップに取り替え、ビデオ、冷蔵庫などタイマーや常時通電が必要な電気製品以外は、すべて主電源をその都度カットしている。白熱灯を蛍光灯やLEDランプに切り替えている。残ったご飯は冷凍し、食べる時に解凍している。エアコンの冷房温度を28に設定し、できるだけエアコンを使用しないで扇風機で対応している。南側や西側の窓には、すだれを設置し、直射日光が部屋に入らないようにしている。太陽温水器を設置し、春から秋までの風呂及びシャワーのお湯を賅っている。食洗機や節水型シャワーヘッドを設置している。

今年に限ったことではないが、夏冷房：クーラーは設置していない。冬暖房：薪ストーブ1個だけで全室。電気はこまめに消灯。緑を育てる。森林ボランティア登録。鳥海山にブナを植える会会員。九十九島の松を守る会会員及び島守。オランの会(仁賀保バイオマス利用推進会)会員。買い物袋必ず持参。生ごみはコンポストへ。

不要な場所の消灯。待機電力をカット。簾で日差しをカット。冷房の温度設定を上げる。窓辺に朝顔などを植えて日差しをカットなど。洗濯、植木、畑への水やり お風呂の水を。残飯コンポストへ。窓辺につる性の花(朝顔など)を植えて日差しをカット。歩ける距離は車を使わないなど。

おばあちゃんの知恵袋集(抜粋)



雨水の利用。東南、北西に0.75m³の入れ物を置く。雨樋の設置。北西水は朝方、東南の水は夕方、ガーデニングに又は家庭菜園に。拙宅は外部にゴーヤを這わせる、いわゆる縁を作ることで、夏の場合は温度が10も下がると言われています。大建築家、清家清先生の『今日の便利は、明日の不便』という家造りの名言・至言を紹介します。(大仙市 佐藤さん)

アイスクリームの棒へら、串付きソーセージの串、焼き鳥の串、割り箸など、木だったら、バーベキューの炭の着火用にためておきます。もちろんバーベキュー後の炭の灰は、肥料にしています。全自動洗濯機は、洗いよりも脱水の方が、消費電力が多いと雑誌で見た記憶があるので面倒でも、脱水時間を1分(自動設定だと8分)に設定しました。夏場の外干しなら午前中で乾きました。天気に合わせて、室内外干し場所に合わせて設定しています。(秋田市 荻原さん)

うど：栽培物の上の部分は天ぷらにして、皮はきんぴらにしています。なかなかおいしいです。大根の皮：千切りにしてサラダにするといつもと違うモチモチ感が味わえます。大根と人参は皮付きのままきんぴらにしてもいいです。(秋田市 若林さん)

すてるネクタイ、ちょっと待って。小さくて、すてきなスカーフがとても簡単にできますよ。セーターやブラウスの首もとに保温とアクセント。HPに型紙イラストあり(男鹿市 小松さん)

タマネギ全て使い切る知恵です。頭と後のところは、切り落とした後、窓ガラスの汚れをふき取ったり、流し台の油污れをふきとってから、捨てます。(ゴミが小さくなる)タマネギのうすい茶色のカワは、ゆで卵と一緒に煮込むと白いゆで卵がなんと、オレンジっぽい黄色のゆで卵に変身します!!(カワはそのまま捨てず、料理の色付けに使用)その使い切った後のカワは水分を含んでいます、畑の肥料として使えます!!(大館市 安田さん)

他県のホテルでやっていたのですが、客室のひげ割り、クシ、歯磨き、シャンプー、リンスなど一通りを使用しないで、精算時にフロントに持って行くと、記念品をくれるというもの。PTAでの「マイバッグ運動の推進」。職場での夏晴天時の消灯。明るい時

には消すものだという意識付けをしたい。野外バーベキューでの使い捨て食器の廃止。(秋田市 田口さん)

お菓子や海苔等に付いてくる乾燥剤は捨てずに食品保存場所や押入れ、戸棚等に放りこんでおく。特に夏、米びつに入れておくと虫が付かない。ふくらんで使えなくなったら集めて、畑などにふりかけると土が肥え、ごみの減量化にもなる。ちなみに我が家では、生ごみも土の中に入れてある。冷蔵庫の中は少なめに、冷凍庫の中は多めにして、エネルギーを減らしている。(湯沢市 高橋さん)

テレビ等の待機電力を無くす為に手でスイッチが切れるコンセントを利用している。使わなくなった傘を、サークルの人達でマイバックを作り重宝している。湯たんぼの替わりにペットボトルを利用している。小さな紙(例 レシート)は1ヶ月で沢山貯まるので資源ゴミに出している。(秋田市 中西さん)

風呂の残り湯は洗濯、洗車、ふき掃除、トイレ掃除に使っています。食べ物を作りすぎないように、残さないようにしています。リサイクルできるものは、スーパーに持参している。買い物するとき、マイバックを持っていくなどです。(横手市 山崎さん)

早寝早起き 節電につながる。車をなるべく使わず歩く。とぎ汁を庭にまく。(秋田市 丸谷さん)

クーラーは真夏日しかかけないで、ふだんは扇風機の前に大きな氷を置き、涼しくしました。平屋の家なので屋根に水をかけました。窓には簾をかけました。庭には打ち水をし、縁側には朝顔を植え、日射しよけにして涼しくしました。(由利本荘市 佐藤さん)

子供たちには自室ではなく居間で過ごすように強く話した。破れていた網戸をすべて張りなおし、窓をできる限り多く長い時間開けるようにした。外出時は天窓を開けて出かけた。(秋田市 吉田さん)

クイズ 1 地球上の水全部でバケツ一杯だとすると、私たちが使える水の量は?
コーヒークップ1杯 スプーン1杯 耳かき1杯

第129回 秋田県種苗交換会へ出展



ピーターラビット® パネル展



まだまだ元気！

平成18年11月1日（水）～7日（火）の1週間、潟上市天王で開催された種苗交換会へ「地産地消は人類を救う！」をテーマに秋田県地球温暖化防止活動推進センターのブースを出展しました。

農業の祭典である種苗交換会は優れた農産物の表彰など、「先人に学び農業の未来をひらく」をメインテーマに秋田県内各地で毎年開催されています。

秋田県センターは、このまま温暖化が進むと異常気象など、農業にも大きな影響があることや、地球の裏側から運ぶエネルギーが膨大であることなど、地球温暖化対策の観点から「地産地消」を呼びかけながらの温暖化防止ブース出展をしました。



ピーターラビット® パネル展 2



チャリンコ発電 疲れます...

地球温暖化クイズや取り組んでもらいたい活動例、自転車発電のジュースづくり、そして全国センターの「ピーターラビット®とおんだんかのおはなし」パネル展を行いました。絵本ではおなじみのピーターラビット®は、温暖化防止国民運動チーム・マイナス6%のチーム員です。

今年は会場が分散された開催となり、センターブースは、主会場から離れた天王公民館になりました。3日～5日の休日には、親子連れ、三世代家族などが訪れ、自転車発電にトライ。美味しいバナナジュースで喉を潤したり、ピーターぬり絵つきチーム・マイナス6%のパスをゲット、また温暖化クイズで首をかしげたりと、多くの方に参加していただきました。農業県の秋田から、もっと「地産地消」を発信していきたいものです。

こどもエコクラブ交流会

平成18年11月5日（日）秋田市太平山自然学習センターまंतरらめで「こどもエコクラブ交流会」が開催されました。

好天に恵まれ、紅葉の中、元気な子ども達の声に包まれ、清々しい一日になりました。開会式の後、4つの班に分かれ、それぞれの班内で自己紹介を行い、落ち葉が舞い踊る林の中へ、午後の工作のための材料拾いに出かけました。

普段、あまり広々としたところで遊べない子ども達は、木に登ったり、ぶら下がったりで、大はしゃぎでした。落ち葉をたくさん集め、リーダー役の「あきた環境楽会」の大学生に投げて、喜んでいました。中には、落ち葉に「栗のいが」を忍ばせ、大学生を慌てさせるイタズラ坊主もいました。



いいもの ないかなあ...

昼食は、ピザ作り。地産地消の観点から、生地は「米粉」です。金属皿に生地をグイグイと押しつけて伸ばし、上にエビやソーセージ等をトッピング。載せ方にも子どもの個性があらわれ、おもしろいです。



ちゃんと分けてね



落ち葉動物園 芸術だね

暖めておいたオープンに入れ、待つこと5分、でき上がりです。ちょっと切りにくいのが難点ですが、モチモチとした食感があり、とても好評でした。考えていたより手軽にできることに驚きました。

お腹いっぱいになった後は、2組の大学生のグループから「松くい虫の話」と「炭電池の作り方」について、講義と実験がありました。

工作室に戻り、午前中に拾い集めた落ち葉や木の実などを使っての工作をしました。初めはアイデアが思い浮かばず、手が動かなかった子どもたちですが、閃くと夢中です。見ていると、子どもたちより大人の方が熱中していたようでした。

最後は、班ごとに発表し合いました。そして、どの班の発表が好きだったか、ドングリを票にして投票し合いました。開票は、運動会の玉入れ競争みたいに、投票箱からドングリを一個ずつ取り出して行いました。自分達の班の箱から、ドングリが出てくるたびに大騒ぎです。



ドングリ投票の開票で～す

この会の企画をしたのが、秋田大学、県立大学、そして国際教養大学の学生たち、支えていたのが秋田市環境部環境企画課の面々です。見事なアイデアと連携で、参加した子どもも大人も、秋の一日を思い深く過ごすことができました。

秋田市環境企画課 <http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/rc/>

会員活動紹介

三井住友海上の環境への取組

三井住友海上火災保険
(株)秋田支店

三井住友海上は、グループ企業全体の社会的責任の1つとして「環境」を取り上げており、未来に向けて地球環境の保全と改善に取り組んでいます。事業活動を行うと、必ず地球環境に何らかの形で負荷を与えることから、国際的には、インドネシア林業省と共同でジャワ島「パリアン野生動物保護林」森林の再生に26万本植樹の予定で、現在までに約10万本の植樹が完成したということです。

事業活動自体については、環境マネジメントシステムISO14001を取得し、環境目標を立て、資源、エネルギーの低減に努めるほか、社有車のエコドライブを徹底させるなど全社員が環境活動に取り組んでいます。顧客への送付用封筒も中身の見える窓枠素材にグラシン紙を使用し、分別せずにリサイクル可能にしています。



車検も整備もエコで

また、全国的な自動車整備工場代理店組織（アドバンスクラブ）があり、エコロジー車検・エコロジー整備を行っています。エコ車検・エコ整備は、自動車の有害・有毒ガスの排出や騒音、振動を抑制、燃費改善によりCO₂排出を削減する自動車運行時の環境負荷を低減する取組です。アドバンスクラブ秋田は、事務局を秋田支店内に置き、秋田県内16整備工場代理店で組織されており、エコ車検・エコ整備の推進、環境配慮型技術整備の習得に力を入れ、積極的に「人と地球にやさしい環境メンテナンス」を推進しています。毎秋、JR秋田駅前で開催される「あきたエコ&リサイクルフェスティバル」にもブース出展して

車両運行に伴うCO₂削減、燃費向上整備技術を来場者に紹介しています。

保険・金融サービス事業においても、環境保全の観念がしっかりと根付いています。

〒010-0951 秋田市山王二丁目1番43号

TEL: 018-865-0564 FAX: 018-862-8614



人にも地球にもやさしいですよ！

会員活動紹介

「木づかい」の勧め

秋田県木材産業協同組合連合会
(栗生澤 節 理事長)

秋田県木材産業協同組合連合会は、秋田スギを初めとする県産材を加工販売する県内製材業者や集成材工場などの協同組合連合会として、県内外へ秋田の木材製品普及のための発信や会員相互の情報収集など役割を果たしています。

「木」は山で立っているときはCO₂を吸収し、その幹に炭素として蓄えるほか、土砂災害の防止や水資源を保つ役割などさまざまな仕事をしています。

また、「木材」になってからも呼吸するといわれ、空気清浄機能や湿度コントロール機能があり、木を使った建物等で生活すると電磁波の影響が軽減するという事です。事務所のある遊学舎では、築4年の今でも、朝、出勤すると木の香りがします。

海外から安く輸入されていた外国産材に押されて、なかなか国産材の需要が伸びませんでした。国際的にも環境配慮、地球温暖化防止が注目されている昨今、地産地消で輸送エネルギー消費が少なく合法的である国産材が見直され始めました。



木材循環



スギ間伐材使用の学校机

無機質の製品とは違って、触れるとぬくもりのある木材を家づくり、内装材、家具などに使うことにより、人にも地球にも優しい暮らしができます。

適材適所という言葉どおり、多様なニーズにこたえるべく、多くの木材製品が供給されているほか、スギ間伐材を利用した学校用机も制作されていて、教育現場に潤いと温かみをもたらしています。人間、帰り着くところは自然ですよという栗生澤理事長の言葉に納得。

地球温暖化対策で日本の森林にはCO₂吸収源として3.9%のCO₂削減効果が期待されています。森を生かし、育てるために、もっともって地元の「木づかい」を。

〒010-0003 秋田県秋田市東通二丁目7番35号
TEL018-837-8091 FAX018-837-8093
木こりネット: <http://homepage2.nifty.com/kenmokuren/>

クイズ 2 環境省のレッドリスト「絶滅危惧種」に指定されているのは、どれ？
ニホンオオカミ トキ オガサワラオオコウモリ

県民参加の森づくり



クロマツの苗を一齐に植樹

平成18年10月1日(日) 由利地域振興局主催による第3回秋田県森林祭が行われました。わか杉国体のサッカー会場脇の西目カントリーパークの松くい虫被害林跡地で西目地域の小中高の生徒、森林ボランティアの方々、そして応募した一般県民によるクロマツの植栽が行われました。

苗を植える場所には、あらかじめ穴が開けてあり目印として割りばしが立っていました。一人10本を着々と植えると、植栽会場には小さい黒松の列ができました。合間に帯状の植栽しない場所があり、あとで広葉樹を植栽するそうです。植えた苗の周りには、飛砂と乾燥を避けるために、伐採木のチップを撒くと聞きました。植え



伐採木のチップ

るだけではなく、後の手入れも大事なことを実感しました。植栽が終わってから、中島台自然休養林に移動、昼食を済ませてから自然観察指導員をリーダーに自然観察会を行いました。一斉に大人数が森に入ったので、ブナの大木も驚いたかもしれません。ブナの根を守るため木道が設置されているところが多く、豊富で透き通った湧き水や、積雪時に薪として切ったためといわれる変形ブナの巨木が多く、ヒンヤリした森の中を堪能しました。



自然観察指導員の佐々木さんと「あがりこ女王」の前

獅子ヶ鼻湿原
<http://midnight-cat.cool.ne.jp/midnightcat2/chokai/shi-aki202.htm>
 あがりこ大王
<http://www.touhoku-shinrin.com/syoutai/kyozin/kyozin20.htm>
 中島台自然休養林
<http://www.kisakata.org/kyoukai/05/nakazima1.html>

変わらない欧州とバーゼル条約のバーゼル駅(スイス)雑感

環境カウンセラー 杉館 俊彦 (秋田市在住)

10月1日から1週間、環境問題の視点でオランダ・ドイツ・スイスを視察して参りましたので感想をお伝えしたいと思います。



サマータイムで朝7時でもうす暗いアムステルダム

<変わらない欧州>

今回のオランダの町並みも今から30年ほど前にたずねたオランダの町並みと石畳は多くの部分で変わりがありませんでした。日本人の多くが訪れるアンネフランクが隠れていた家の正面の表情も昔と変わらずそのままでした。アムステルダム中央駅は工事中でしたが正面の東京駅にそっくりな表情もそのままでした。ホームを通過する車両は近代的な車両に切り替わっていますがホームの作りの大まかなレイアウトはほとんど変わりありません。あいかわらず、電車に自転車を積み込むための車両も残っています。階段を使って一階から二階のプラットフォームに自転車を押し上げるための魚道ならぬ輪道も階段の脇に整備されておりその轍(わだち)を使って自転車をホームに上げる人影もまばらながら確認できました。



自転車を乗せることができる車輛のマーク

石畳の上を軽快に走る自転車の多さも昔と変わりません。何か「ほっと」させられます。

30年前に東京勤めの私は上野駅の21番ホームで秋田からの夜行寝台列車を降りて勤務先に向かいました。上野駅は、30年間で表情が劇的に変わりました。現在も変わっています。半年行かないと表情が変わっています。

今回の視察でスイスのバーゼル駅を初めて訪れましたが、何か上野駅の雰囲気似ていました。大壁画と広い通路は30年前の上野駅の雰囲気です。この駅も「ほっと」する感じがしました。

ヨーロッパの駅・ホテルの内部や車両はドンドン新しくなるが、町並みをかたくなに守るといふ「意志」を感じさせられた1週間でした。

バーゼル条約
 (有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約)
 今後増えるPCや携帯電話廃棄物の移動や処分を巡り平成18年11月27日~12月1日にかけて、ケニアのナイロビで開催されるCOP8には、約120カ国の代表者が集い、新たな規制強化方針などの議題で討議が進められるという。

バーゼル条約の背景
 有害な廃棄物の国境を越える移動は1970年代から欧米諸国を中心にしばしば行われてきた。1980年代に入り、ヨーロッパの先進国からの廃棄物がアフリカの開発途上国に放置されて環境汚染が生じるなどの問題が発生し、何等の事前の連絡・協議なしに有害廃棄物が国境を越えて移動し、かつ、最終的な責任の所在も不明確であるという問題の存在が明らかとなった。これを受けて、OECD及び国連環境計画(UNEP)で検討が行われた後、1989年3月、スイスのバーゼルにおいて、一定の廃棄物の国境を越える移動等の規制について国際的な枠組み及び手続等を規定した「有害廃棄物の国境を越える移動及びその処分の規制に関するバーゼル条約」が作成された(1992年5月5日効力発生。2006年3月現在締約国数は167か国、1機関(EC))。我が国は東南アジア諸国等との間で、リサイクル可能な廃棄物を資源として輸出入しており、条約の手続に従った貿易を行うことが地球規模の環境問題への積極的な国際貢献となるとの判断の下、1993年9月17日に同条約への加入書を寄託し、同条約は、同年12月16日に我が国について効力を生じた。

我が国におけるバーゼル条約の実施
 バーゼル条約の我が国の国内実施法である「特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律」に基づき行われる輸出入の承認等の状況は次のとおりである(平成16年1~12月)

我が国からの輸出件数		我が国への輸入件数	
輸出の承認	25,220t	輸入の承認	6,844t

外務省HPより
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/jyoyaku/basel.html>

秋田で考える循環型社会 ~資源と環境配慮型の地域社会を目指して~

平成18年10月23日(月) 秋田市の秋田ビューホテルで廃棄物学会東北支部秋田地区講演会(2006)が行われました。

- 1) 秋田県エコタウン活動の現状と新しいエネルギーシステムに向けて
(秋田県産業経済労働部資源エネルギー課 山上 和丘)
- 2) 秋田県における循環型社会への取組
市民レベルの環境活動~秋田発 市民で取り組むごみ減量大作戦~
(環境カウンセラー 那須チカ子)
石灰灰と廃プラスチック類利用による二次製品化事業の概要
(秋田エコプラッシュ(株)事業推進課 井上勝明)
- 3) 鉱山業から循環型社会に向けた資源リサイクルと環境事業
(DOWAホールディング(株)環境ソリューション室 加藤秀和)
- 4) 循環型社会は本当に来るのか?
(秋田県立大学生物資源学部 谷口吉光) (敬称略)

県の山上さんは、北部エコタウンの現状、市場ニーズのあるリサイクル品を目指していることや新しいエネルギー、燃料電池などについての展望を説明。

環境カウンセラーの那須さんは、昭和53年からごみ減量に取り組んでおり、「経済+知恵」の頭文字「経知けち」を身につけようとアピール。

秋田エコプラッシュの井上さんは、能代工業団地で、発電所の石灰灰と廃プラスチックを原料に田んぼのあぜ道カバーやU字溝を製造している事業内容を説明。

DOWAホールディングの加藤さんは、世界一といわれる資源リサイクルについて希少鉱物資源などのリサイクルの必要性、事業の経済性について紹介。

県立大の谷口さんからは、循環型社会という言葉は定着しているが、そこに至るプロセスは、だれにもわからない現状ではないかという投げかけがありました。確かに、これが正解というものが無いのが環境問題だと思います。生活様式を見直すにしても、文化として定着したものをやめてしまうことへの抵抗感など、他の要因との関連も無視できないものがあります。それでも、資源の効率化、廃棄物減量など具体的に目指して活動していくことが第一義的に必要なことだと思います。



県立大の谷口さん



DOWAホールディングの加藤さん



秋田エコプラッシュの井上さん



ごみ...といえば 那須さん



資源エネルギー課の山上さん

由利地域 目指せ循環型社会!



ふろしきラッピング 教えます

平成18年11月18日(土) 由利本荘市の西目公民館「シーガル」で由利地域リサイクルフェアが開催されました。由利地域振興局福祉環境部主催で、地域の活動紹介などを行い、循環型社会を目指す機運を盛り上げようと行われたもので、親子連れや近隣の住民の方々が訪れていました。

展示コーナーには、地球温暖化防止活動推進員・あきたエコマイスターの方々が環境ブースを出展し、来場者へエコ家計簿を勧めました。

廃油活用BDF(代替燃料)で自社の社用車の燃料を賄っている、にかほ市の企業は、地元のバイオマス推進活動団体・オランの会と連携して事業を行っているそうです。燃料パイプ故障などの欠点が挙げられていたBDFですが、それも克服しつつあり、実用に向



木、手すき和紙、炭のコラボです

けて期待がもたれます。

地元企業のTDKやイオングループの環境への取り組み紹介コーナー、環境カウンセラーによる「ふろしきラッピング」伝授も行われました。

東成瀬村から出展していた手すき和紙ともみ殻の炭「くん炭」を組み入れた仕切りやドア、ボード、断熱材などの建具や内装材は、その性能はもとより、リサイクルの観点、製品の美しさも一級品です。

秋田県認定リサイクル製品の展示やEM菌生ごみ堆肥化実践、エコクッキングのほか、ホールでは、県立大学環境科学学科の谷口准教授による「循環型社会の入口に立って~待ち受けるものは光か闇か~」の講演、環境忍者エコ丸兄弟寸劇、リサイクルマジックショーと盛りだくさんの内容で、参加した人は得るものも多かったと同時に楽しませてもらいました。

まずできることは、ごみを減らすこと!を実感したイベントでした。



BDFで循環型社会に!

クイズ 3

酸性雨の影響は、どれ?

木が枯れる

川や湖の色が変わる

大気中のCO₂がふえる



秋田県地球温暖化対策推進計画検討中

平成18年11月21日(火) 秋田市のあきたパークホテルを会場に第2回秋田県地球温暖化対策推進計画策定検討委員会が開かれました。

1999年策定の「秋田県環境基本計画」の中の地球温暖化対策を見直し、今後、さらに具体化した計画を立てることになっており、今回は9月について2回目の開催。

手入れされた森林についてはCO₂吸収源としてカウントされることや、増え続ける民生部門のCO₂排出など問題は山積している現況です。

事務局の環境あきた創造課から、いろいろな想定で数字が示され、議論されました。理想と現実の溝は大きいものがあり、12月開催予定の第3回委員会に向けて、少しでも実行性と実効性の伴った対策推進計画になるように、事務局、委員ともども知恵を絞ることになります。



会議中

エコにかほ 地元で頑張ってます!



まあまあ、一服

秋田県にかほ市の文化祭が11月2日から5日まで、4日間にわたって行われました。

ここで、秋田県地球温暖化防止活動推進員の工藤兼勝さんと元推進員の吉岡伸子さんを中心とする「エコにかほ」というボランティアグループが環境ブースを出展しました。

お二人とも、継続して環境家計簿を記入していて「ほら、うちでは、こーだよ」「こうやって省エネすれば、いいんだ」と実践にもとづいた普及啓発を行っています。

「地球が壊れてしまえば、人は生きていけないすべ」と、優しい語り口で「エコ家計簿」や地球温暖化防止を説明してくれるから、思わず「んだよねえ」と納得。

文化祭では、若いお母さん方をターゲットに「地球温暖化」の恐さや、だれでもできる「エコ家計簿」を勧め、「行動は足元から」の環を広げていました。

ひと言だけだと、言い足りないし、十言もしゃべれば嫌われるし、四言ぐらいが丁度いいかな...という伝え方テクニックを教えてくださいました。



可愛い絵本もあるよ

100万人のキャンドルナイト in あきた2006冬至

私たちは100万人のキャンドルナイトを呼びかけます。2006年の冬至の夜8時から10時の2時間みんなでいっせいに灯を消しましょう。

一人ひとりがそれぞれの考えを胸にただ2時間、灯を消すことで、ゆるやかに繋がっていく「くらやみのウェーブ」を地球上にひろげていきませんか。

(お問い合わせは、当法人事務局まで)

2006年12月22日(金) 18:30~
会場 コラボラトリー(秋田市大町)

- ・ガラス・陶芸・紙すき作家の方々と「スローライフ」トーク
- ・コロンビア舞踊:佐藤ビエダさん
- ・フォルクローレ:ロスチャルコス
- ・からだど心にやさしいFood Box ¥500/1人
- (マクロビオティックをすすめる会)



入会について あなたも参加しませんか

未来の子どものために、秋田の環境をよりよくしていこうという活動の応援団です。当法人の活動やこのフォーラム通信発行のために会費を負担していただいています。

会費

区分	社員	一般会員
企業・企業関係団体	1口:1万円 年1口以上	1口:1万円 年1口以上
個人・民間団体	1口:3千円 年1口以上	1口:1千円 年1口以上

会費納入について

秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633
郵便振替口座 02280-7-76146

いずれも特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム宛です。

なお、フォーラム通信送付の都合上、銀行振込の場合は事務局にご住所、お名前ご連絡ください。

NPO法人 環境あきた県民フォーラム 秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字塚切24-2 遊学舎(秋田県ゆとり生活創造センター)内
TEL・FAX 018-839-8309 Eメール mail@eco-akita.org ホームページ <http://www.eco-akita.org/>

ストップ!温暖化

事務局から

紅葉木に雪が降ってる。何か季節がズレてるみたい。雨が降っていえば土砂降りだし、恐いぐらいの強い風が吹くし、北海道じゃ竜巻で大災害になるし、なんじゃこりゃ(?)って天候が多いねえ...。お天道様ああ、豪雪は、勘弁してください!!

ホント、環境破壊や地球温暖化の影響が、目に見えるようになってきた気がする。

水環境と大気環境、どちらも生物にとって大切だけど、悪影響を及ぼしてるのは人間だけ。地球上で毎日100種以上の生物が絶滅してるって、こないだ中学生に教わった。人間だって生物の1種にすぎないのに...

クイズの答え クイズ1... クイズ2... クイズ3...